

1. 件 名：国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻の事業者
防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和5年4月26日 10:05～10:55

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、本間防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻

主査

5. 要 旨

国立大学法人東京大学から、令和5年2月24日に実施した同大学大学院工学系研究科原子力専攻の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや所内評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項について対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

- ・ 15条事象の通報の際には、その事象の発生時間を通報に記載すること。このことは、訓練で確認された課題として改善すること。
- ・ ERCとの情報共有に係る課題の対策について、戦略シート運用が確実に実施できるよう、作成タイミングを含めた実施要領を作成すること。
- ・ 表-2の内部レベルアップ事項に記載されている課題については、表-1の2022年度訓練で確認された課題に区分すべきではないか。

国立大学法人東京大学から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料

資料1：2022年度事業者防災訓練 抽出した課題とその対策
(東京大学大学院工学系研究科原子力専攻)